

## リンドウの病害虫の発生状況（8月中下旬） ※例年…2015～2020年の6年間平均

### 1 葉枯病

発生ほ場割合は例年よりやや多い状況でした（図1）。8月中旬の強い降雨による影響で、上位葉にも発生がみられています。降雨が続くなどの多湿条件で発病しやすくなるので、予防散布を心掛けてください。

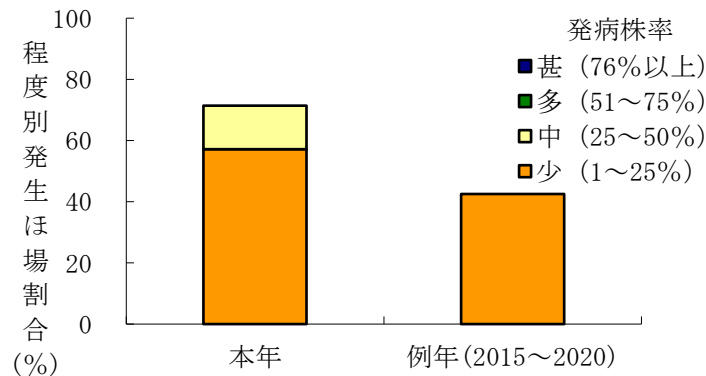


図1 葉枯病の発生状況

### 2 褐斑病

発生ほ場割合は例年並でした（図2）。お盆時期の強い降雨により、発生がみられています。短い降雨が長期間続くなどの多湿条件で発病しやすくなるので、予防散布を心掛けてください。

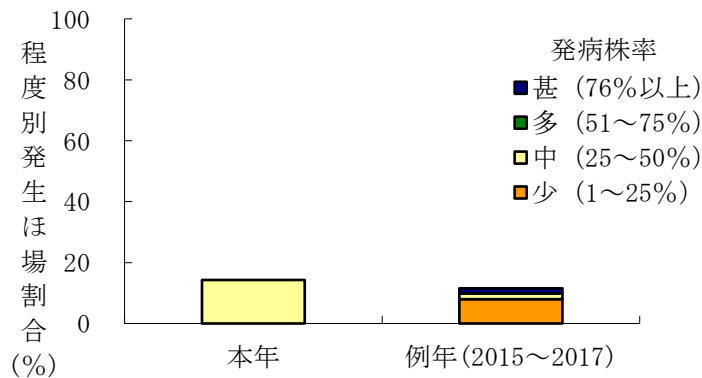


図2 褐斑病の発生状況

### 3 ハダニ類

寄生は確認されませんでした（図3）。ほ場をよく確認し、低密度時から防除を徹底してください。

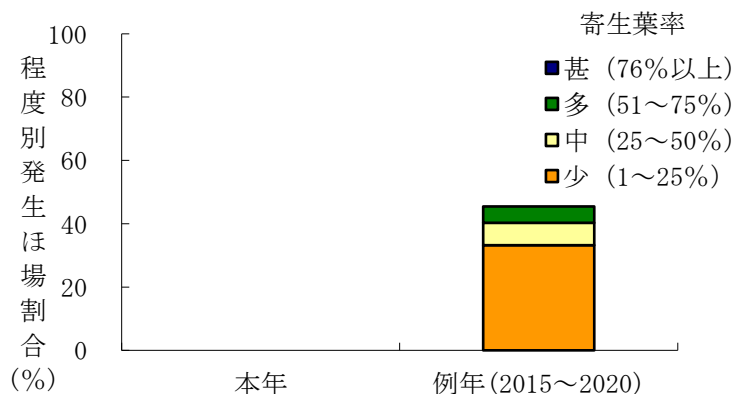


図3 ハダニ類の発生状況

#### 4 リンドウホソハマキ

寄生および被害茎は確認されませんでした（図4）。ほ場をよく観察して速やかに防除を実施してください。

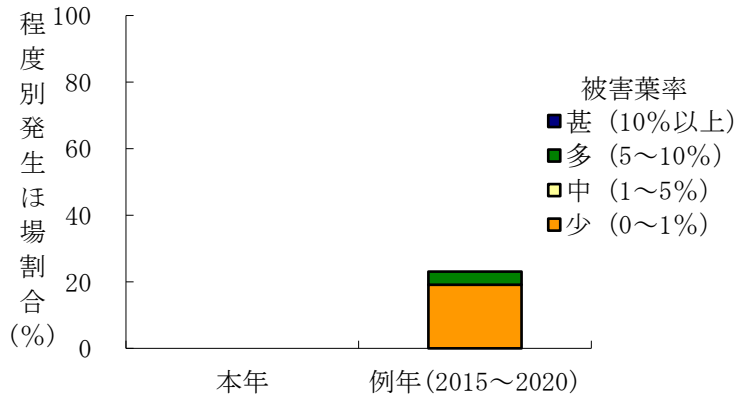


図4 リンドウホソハマキの発生状況

#### 注意が必要な病害虫

##### ■黒斑病

過去4年の中で最も発生ほ場割合が高い状況でした（図5）。本病の病斑は、葉枯病や褐斑病、灰色かび病と似ているので注意が必要です。高温多湿条件で発生が助長され、高温日照不足の天候が続くと上位葉への進展が早くなる可能性があります。ほ場をよく観察し、予防散布を実施してください。

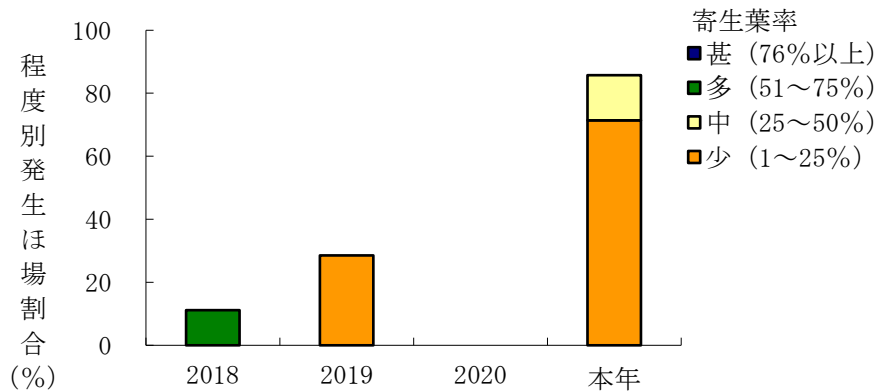


図5 黒斑病の発生状況

● 情報内容への質問や要望は、福島県病害虫防除所まで御連絡ください。

Tel:024-958-1709 Fax:024-958-1727 e-mail:yosatsu@pref.fukushima.lg.jp